

# Asia Indicators

発表日: 2022年3月11日(金)

台湾、世界経済の回復を追い風に輸出入は底入れが続く(Asia Weekly(3/4~3/11))

~ウクライナ問題の行方に懸念も、世界経済の回復の動きは引き続き輸出入の追い風に~

第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 西濱 徹(Tel:03-5221-4522)

## ○経済指標の振り返り

発表日	指標、イベントなど	結果	コンセンサス	前回
3/4(金)	( <a href="#">香港</a> )1月小売売上高(前年比・数量ベース)	+1.7%	--	+3.4%
3/7(月)	( <a href="#">中国</a> )2月輸出(年初来前年比)	+16.3%	+15.0%	+20.9%
	2月輸入(年初来前年比)	+15.5%	+16.5%	+19.5%
3/8(火)	( <a href="#">台湾</a> )2月消費者物価(前年比)	+2.36%	+2.70%	+2.84%
	2月輸出(前年比)	+34.8%	+15.5%	+16.7%
	2月輸入(前年比)	+35.3%	+19.6%	+24.5%
3/9(水)	(中国)2月消費者物価(前年比)	+0.9%	+0.9%	+0.9%
	2月生産者物価(前年比)	+8.8%	+8.7%	+9.1%
3/11(金)	( <a href="#">フィリピン</a> )1月輸出(前年比)	+8.9%	--	+7.3%
	1月輸入(前年比)	+27.5%	--	+39.1%
	( <a href="#">マレーシア</a> )1月鉱工業生産(前年比)	+4.3%	+5.2%	+5.9%

(注) コンセンサスは Bloomberg 及び THOMSON REUTERS 調査。灰色で囲んでいる指標は本レポートで解説を行っています。

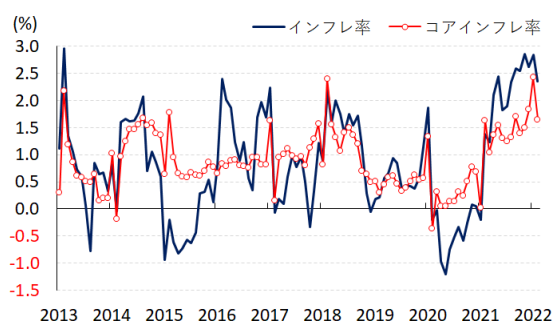
## [台湾]~インフレ圧力に一服感が出る一方、世界経済の回復を追い風に輸出入は底入れが続いている~

7日に発表された2月の消費者物価は前年同月比+2.36%となり、前月(同+2.84%)から伸びが鈍化した。前月比も+0.01%と前月(同+0.57%)から上昇ペースが鈍化しているものの、生鮮品をはじめとする食料品価格は上昇の動きを強めているほか、国際原油価格の上昇の動きを反映してエネルギー価格も上昇が続くなど、生活必需品を中心にインフレ圧力はくすぶる。なお、生鮮食料品とエネルギーを除いたコアインフレ率も前年同月比+1.65%と前月(同+2.42%)から鈍化しており、2ヶ月ぶりに2%を下回る伸びとなっている。前月比も+0.02%と前月(同+0.63%)から上昇ペースが鈍化しており、エネルギー価格の上昇に伴う輸送コストの上振れを反映して幅広く財価格に押し上げ圧力が掛かる動きがみられる一方、感染動向の落ち着きを受けて医療関連をはじめとするサービス物価に下押し圧力が掛かるなどサービス物価の鈍化が物価の重石となっている。

また、同日に発表された2月の輸出額は前年同月比+34.8%となり、前月(同+16.7%)から伸びが加速した。前月比も+12.1%と前月(同▲5.3%)から3ヶ月ぶりの拡大に転じており、中期的な基調も拡大ペースを強めるなど底入れの動きが続いている。財別では、主力の輸出財である半導体をはじめとする電子部品関連で堅調な動きが続いているほか、金属関連やプラスチックなど素材及び部材や化学関連などでも幅広く底堅い動きが続いている。国・地域別でも、最大の輸出相手である中国本土向けを

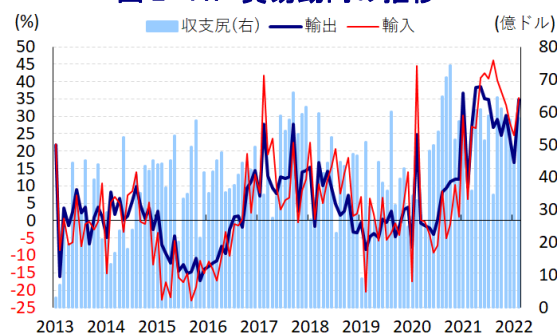
はじめとするアジア新興国向けのみならず、米国や欧州、日本など先進国向けも総じて堅調に推移しており、世界経済の回復の動きが輸出を押し上げている。一方の輸入額は前年同月比+35.3%となり、前月（同+24.5%）から伸びが加速している。前月比も+12.0%と前月（同▲2.8%）から3ヶ月ぶりの拡大に転じており、中期的な基調も拡大傾向の動きを強めるなど輸出同様に底入れの動きが続いている。原油をはじめとする国際商品市況の上昇の動きに加え、輸出の堅調さを反映して素材及び部材などに対する需要が押し上げられていることも輸入を下支えしている。結果、貿易収支は+58.10億ドルと前月（+49.17億ドル）から黒字幅が拡大している。

図1 TW インフレ率の推移



(出所)CEICより第一生命経済研究所作成

図2 TW 貿易動向の推移

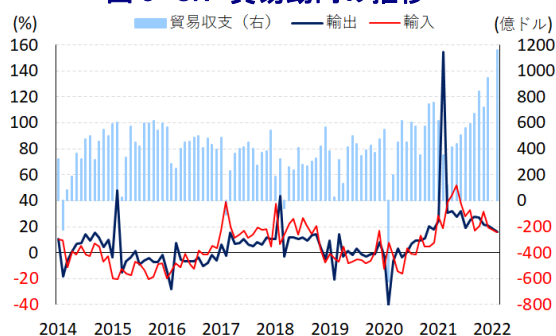


(出所)CEICより第一生命経済研究所作成

### [中国]～春節連休の影響はあるも、世界経済の回復を追い風に輸出入は引き続き底堅く推移している～

7日に発表された1-2月の輸出額は前年同月比+16.3%となり、昨年12月（同+20.9%）から伸びが鈍化した。欧米など主要国を中心に世界経済は拡大の動きが続くなかで輸出は比較的堅調な推移をみせている。一方の1-2月の輸入額も前年同月比+15.5%となり、昨年12月（同+19.5%）から伸びが鈍化している。輸出の底堅さを反映して素材及び部材などに対する需要が堅調に推移している上、原油をはじめとする国際商品市況の上昇の動きも輸入を下支えしている。結果、1-2月の貿易収支は+1159.65億ドルと昨年12月（+944.63億ドル）から黒字幅は拡大している。なお、足下ではウクライナ情勢の悪化を受けて世界的なサプライチェーンに悪影響が出る懸念されるほか、国際商品市況の急騰による世界経済の減速懸念も重なり、外需を取り巻く状況は急速に厳しさを増すことが懸念される。

図3 CN 貿易動向の推移



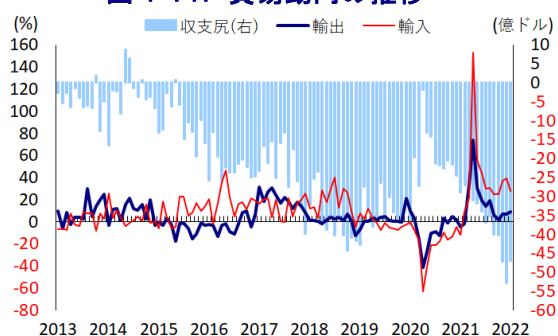
(出所)CEICより第一生命経済研究所作成

### [フィリピン]～アジア新興国向けなどを中心に主力の電子部品関連などの輸出の底入れが続いている模様～

11日に発表された1月の輸出額は前年同月比+8.9%となり、前月（同+7.3%）から伸びが加速して

いる。当研究所が試算した季節調整値に基づく前月比は3ヶ月連続で拡大しており、中期的な基調も拡大傾向で推移するなど底入れの動きが続いている。財別では、主力の輸出財である半導体をはじめとする電子部品関連に底堅い動きがみられるほか、農産品や鉱物資源関連の輸出の堅調さも輸出を下支えしている。国・地域別では、米国向けやEU向けなど先進国向けに下押し圧力が掛かる動きがみられる一方、最大の輸出相手である中国向けをはじめとするアジア新興国向けのほか、日本向けの堅調さが下支えしている。一方の輸入額は前年同月比+27.5%となり、前月（同+39.1%）から伸びが鈍化している。前月比は3ヶ月ぶりの減少に転じているものの、中期的な基調は拡大傾向で推移するなど底堅い動きが続いている。財別では、電気機械関連の輸入は堅調な動きをみせる一方、昨年末にかけての国際商品市況の上昇一服の動きを反映して鉱物資源関連の輸入額に下押し圧力が掛かったことが重石となっている。結果、貿易収支は▲46.96億ドルと前月（▲52.73億ドル）から赤字幅が縮小している。

図4 PH 貿易動向の推移

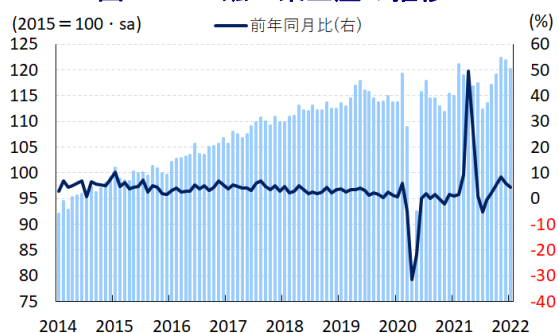


(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

#### [マレーシア]～軽工業関連を中心に製造業の生産に下押し圧力が掛かるも、生産活動は依然として底堅い～

11日に発表された1月の鉱工業生産は前年同月比+4.3%となり、前月（同+5.9%）から伸びが鈍化した。前月比は▲1.43%と前月（同▲0.39%）から2ヶ月連続で減少しているものの、中期的な基調は拡大傾向で推移するなど底堅い動きが続いている。主力の輸出財である半導体をはじめとする電子部品関連や自動車など輸送用機器関連の生産は堅調な動きをみせる一方、加工食品関連のほか、衣類など縫製品関連、木製品など軽工業の生産は幅広く鈍化しているほか、石油化学関連の生産が弱含んでいることも重石になっている。鉱業部門においても天然ガスの生産は底堅く推移している一方、原油の生産に下押し圧力が掛かっている。

図5 MY 鉱工業生産の推移



(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

## [香港]～感染動向の急激な悪化や当局による感染対策強化を受けて、家計消費に下押し圧力が掛かる動き～

4日に発表された1月の小売売上高は前年同月比+1.7%となり、前月（同+3.4%）から伸びが鈍化した。前月比も▲7.51%と前月（同▲2.54%）から3ヶ月連続で減少している上、中期的な基調も減少傾向に転じるなど急速に下押し圧力が掛かっている様子がうかがえる。財別では、食料品など生活必需品に対する需要は堅調な動きをみせているものの、衣料品をはじめとする日用品関連のほか、宝飾品など高額品や自動車など耐久消費財に対する需要に大きく下押し圧力が掛かっており、小売売上高全体の足かせとなっている。香港においては、年明け以降にオミクロン株による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の新規陽性者数が急拡大するなど感染動向が急激に悪化するなか、当局による対策強化を受けて人の移動に下押し圧力が掛かっており、家計消費の足かせになっているとみられる。

図6 HK 小売売上高(数量ベース)の推移



以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。